

東京湾海況情報 28-12

東京湾水質調査結果（平成29年3月）

（平成29年3月9日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査3/1：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）
 関東・東海海況速報（3/1）、東京湾口海況図（3/1）
 モニタリングポスト（3/1：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温は9～10℃台で、平年より1℃ほど高くなっています。塩分はおおむね31～32PSU台で、平年よりやや高めです（図1）。

内房海域の表層水温は北部で11～12℃台でほぼ平年並み、それより南側では13～15℃台でやや高めです。塩分は33～34PSU台でやや高めです。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布は、内湾の25m以浅がほぼ9～10℃台、塩分が32～33 PSU台です（図3）。

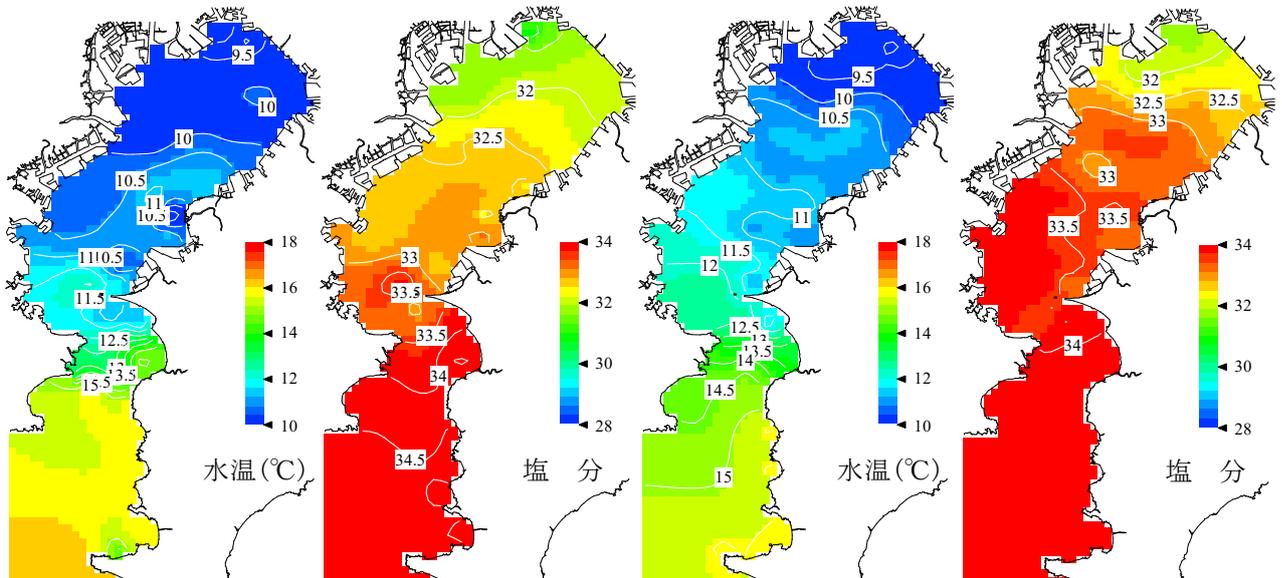


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

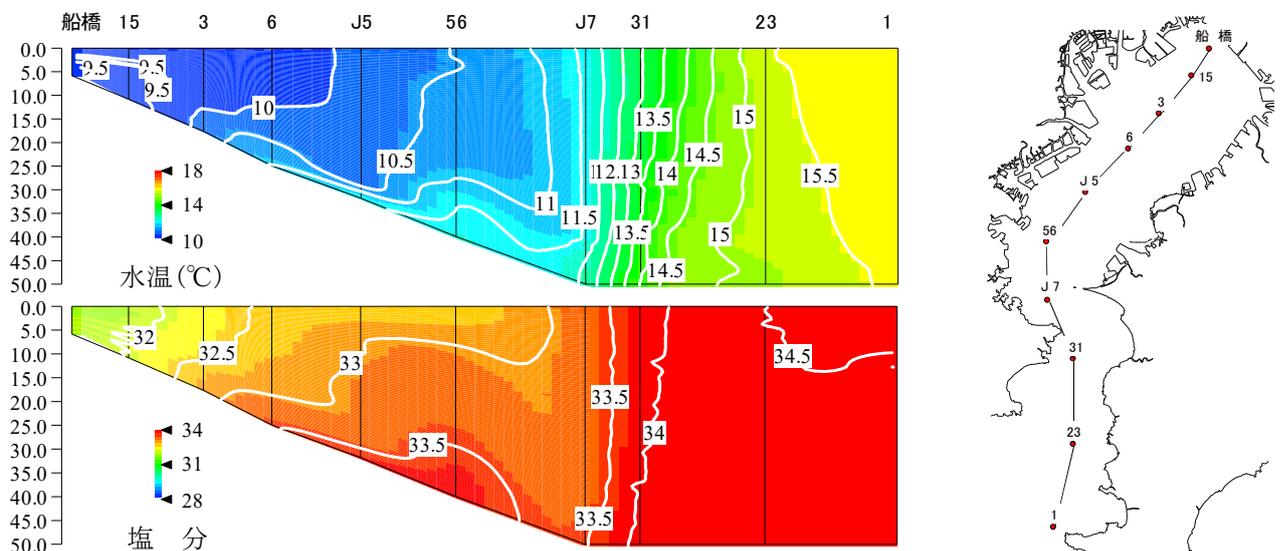


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していません。プランクトンはスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)、タラシオシラ(*Thalassiosira diporocyclus*)などのケイ藻類が優占していました。透明度は内湾から下洲沖で4~5m、水色はほぼ褐黄~黄緑褐色です。

保田から富浦の周辺海域ではケイ藻類がわずかにみられる程度で、いずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。	
色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu\text{g/L}$ 以上

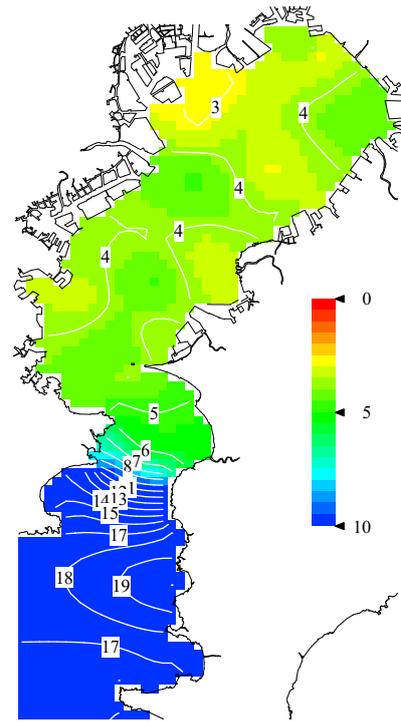


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量は6~8ml/Lで、貧酸素水塊は発生していません(図5, 6)。

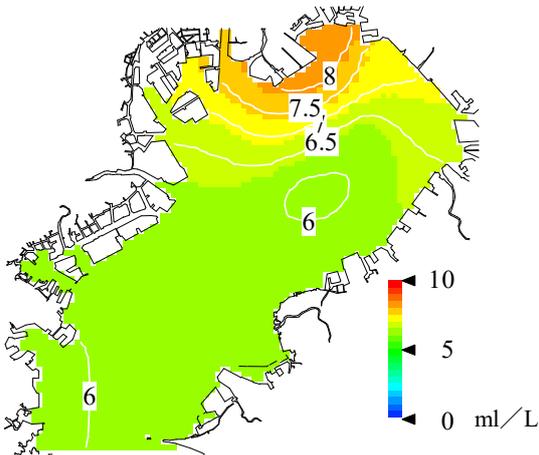


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

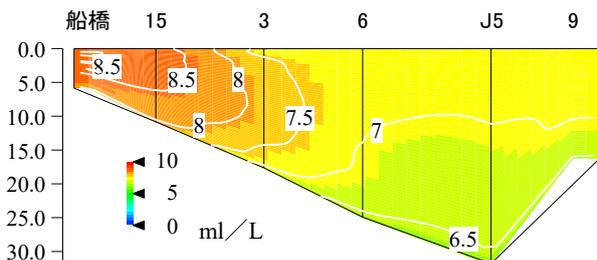


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

表層の栄養塩は、富津岬以北の窒素(DIN)が200 $\mu\text{g/L}$ 以上で北部が高く、同じくリン(DIP)は10 $\mu\text{g/L}$ 未満と引き続き低く、特に北部で顕著です(図7)。

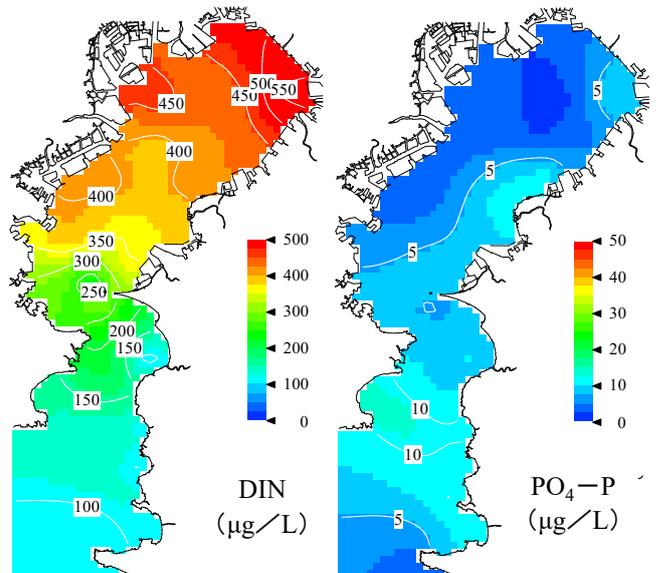


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

D型流路 黒潮は八丈島の東側の冷水域を迂回し、房総沖では大きく離岸して流れています(図8)。

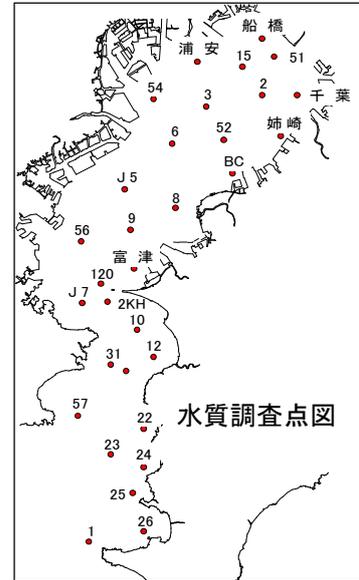
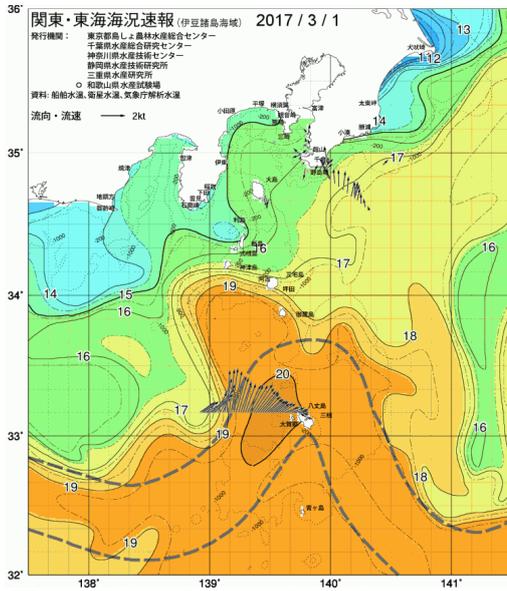


図8 黒潮の動き (平成29年3月1日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2006~2015年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	9.5 (10.7)	31.53 (31.05)	4.0 (3.1)	8.5 (8.4)	7.9 (7.1)	0 (54)	496 (431)	1 (12)
	st.15	9.7 (10.7)	31.74 (31.10)	3.5 (3.3)	8.5 (8.4)	8.0 (6.8)	0 (32)	452 (421)	0 (7)
	st.3	9.6 (10.7)	32.29 (31.16)	3.7 (4.1)	8.4 (8.4)	6.8 (6.0)	0 (37)	434 (463)	0 (7)
	st.6	9.8 (10.5)	32.56 (31.28)	4.8 (4.8)	8.4 (8.3)	6.3 (5.1)	12 (32)	388 (391)	1 (6)
	st.9	10.7 (10.7)	32.90 (31.70)	4.8 (5.1)	8.4 (8.3)	6.2 (6.1)	11 (30)	354 (371)	5 (7)
	st.BC (盤洲Cブイ)	10.9 (11.5)	32.60 (31.70)	4.0 (3.8)	8.4 (8.3)	6.1 (5.9)	37 (54)	419 (395)	8 (12)
	st.8 (盤洲A南)	10.7 (11.1)	32.92 (31.96)	3.3 (4.3)	8.3 (8.3)	6.1 (5.6)	35 (46)	382 (370)	8 (11)
	富津	10.4 (11.3)	32.68 (31.85)	3.7 (4.4)	8.2 (8.2)	6.1 (6.1)	27 (48)	341 (339)	7 (12)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	11.1 (11.5)	32.94 (32.58)	4.0 (5.9)	8.2 (8.2)		0 (51)	283 (309)	5 (13)
	st.31	13.0 (11.9)	33.82 (32.77)	7.0 (7.5)	8.2 (8.2)		0 (29)	191 (278)	8 (11)
	st.23	15.4 (14.8)	34.50 (34.24)	19.0 (14.6)	8.2 (8.2)		0 (12)	115 (106)	10 (11)
	st.1	15.8 (15.2)	34.71 (34.40)	16.0 (15.4)	8.2 (8.2)		0 (8)	88 (89)	3 (11)
	st.10 (下洲沖)	12.4 (12.5)	33.64 (33.31)	5.0 (7.3)	8.2 (8.2)		0 (27)	188 (221)	6 (12)
	st.12 (湊沖)	14.6 (12.6)	34.51 (33.50)	7.0 (7.0)	8.2 (8.2)		0 (19)	97 (191)	8 (11)
	st.22 (保田沖)	15.6 (15.0)	34.51 (34.34)	18.0 (13.7)	8.2 (8.2)		0 (11)	104 (100)	10 (10)
	st.24 (富山沖)	15.7 (15.2)	34.51 (34.39)	20.0 (14.0)	8.2 (8.2)		0 (7)	100 (87)	9 (11)
	st.26 (館山湾内)	15.7 (15.3)	34.50 (34.31)	17.0 (13.1)	8.2 (8.2)		0 (6)	103 (80)	9 (11)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。